

必由館高校改革について

1 当初案（教育委員会事務局案）と学校提案の比較

項目	現行	教育委員会事務局案 (令和3年5月報告内容)	学校提案 (令和3年11月報告内容)
改革の 基本理念	—	自ら考え、主体的に行動し、多様な人々と協働しながら、自らの人生とよりよい社会を創造する力を育てる学校へと改革する	
三つの 特色	—	I 「市立ならでは」の特色ある学校 II 探究的な学びを推進し、社会と積極的にかかわっていく学校 III 生徒が主体的に学校づくりに参画する学校	
教育理念	校訓（至誠、進取、和敬）に学び、魅力と特色ある学校をめざす	世界的視野と課題解決能力を有するグローバル・リーダーを育成する	文武両道の校風のもと、多様な個性を尊重しながら主体的に生きる力を育成する
募集定員	360名	210名	324名
学科 コース <small>※数は1学年あたり、名称は全て仮称</small>	○ 普通科 9クラス ・普通 6クラス ・国際コース 1クラス ・芸術コース 1クラス ・服飾デザインコース 1クラス	○ グローバル探究科 5クラス ○ 芸術探究科 2クラス（音楽・美術・書道・服飾デザインの4コース） ※学科名は仮称	○ 普通科 9クラス ・普通探究コース 7クラス ・芸術探究コース 1クラス ・生活探究コース 1クラス ※コース名は仮称
少人数 クラス編制	40人学級	30人学級	36人学級 ※段階的に募集定員を減じる ことについて継続的に検討
附属 中学校	—	探究的な学びとグローバル教育を推進するため、中高一貫した系統的な教育を実施	新たな高校像が定まったうえで、ニーズを改めて調査し、設置を検討
計画策 定時期	—	令和3年6月	令和4年6月
開校時期	—	令和5年4月	令和6年4月（最短） ※附属中学校は継続検討
その他	—	—	変化の激しい社会において、市民のニーズや高校卒業後の進路状況等を踏まえ、今回の改編の効果を定期的に検討し、募集定員や学科・コースの在り方についても必要に応じて見直す仕組みを構築する

2 必由館高校改革に係る教育委員との意見交換会

日 時：令和3年（2021年）12月17日（金）16時30分から17時30分まで

場 所：必由館高等学校

参加者：生徒、教職員、同窓会

西山教育委員、小屋松教育委員、苫野教育委員、遠藤教育長

(単位：人)

グループ		生徒	教職員	同窓会	計
A	遠藤教育長	5	5	1	11
B	西山委員	5	5	1	11
C	小屋松委員 苫野委員	5	5	1	11
計		15	15	3	33

意見交換会の内容

- (1) 開会
- (2) グループに分かれての意見交換会（生徒等と教育委員）
- (3) 各グループで出た意見の共有（全体）
- (4) 閉会

3 今後のスケジュール（最短）

令和4年(2022年) 1月	・定例教育委員会会議報告(必由館高校改革に係る意見交換会)
2月	・定例教育委員会会議報告(基本計画素案)
3月	・第1回定例会教育市民委員会所管事務報告(基本計画素案) ・パブリックコメント実施
5月	・定例教育委員会会議報告(パブリックコメント結果及び基本計画案報告)
6月	・第2回定例会教育市民委員会所管事務報告(パブリックコメント結果及び基本計画案報告) ・定例教育委員会会議議決(基本計画策定)
令和5年(2023年) 3月	関連例規改正
令和6年(2024年) 4月	開校